

ダイバーシティの観点から考える家族の多様性と子ども支援

— 『普通の家族なんていない』カナダからの学び —

ダイバーシティ=多様性とは、さまざまな要素が絡み合っている状態を表します。子どもを取り巻く環境は、社会的な孤立や経済状況、夫婦や家族の関係、文化の違いなど、まさに「多様な要素」が絡み合っています。その複雑さは多文化や多言語の陰に隠れて、子どもの発達や貧困といった支援の必要性を見えづらいものにし、支援へのつながりづらさをもたらしています。また、子どもへの支援は、家族と切り離して考えることはできません。

このような観点から、多様性と子ども支援の課題について、カナダで多文化・多言語家族への支援や、多文化・多様性カウンセリング、ソーシャルワークの豊富な経験をお持ちの市川氏を講師にお招きして、ご講演いただきます。

子どもや家族に最前線で接する子育て支援者が、多文化家族を理解するヒントを得て、初期的かつ的確なアプローチの大切さを理解することによって、子どもと家族が伸び伸びと暮らせる育ちの環境を整えていけると考えています。ぜひご参加ください。



日時：令和4年8月3日（水） 14：00～16：00

**会場：さいたま市子ども家庭総合センター（あいぱれっと）
1階 オープンスタジオ**

講師：カナダ政府登録難民カウンセラー・セラピスト 市川ヴィヴェカ氏

* 講師紹介 *

日本人の母とイギリス人の父を持つ、東京の三多摩育ち。高校でブラジル留学、大学4年間カナダヴィクトリア大学で心理学を学ぶ。その後日本の民間企業での就労、結婚、出産を経て通信制大学で社会福祉士・保育士資格取得。NPO 法人理事・市役所福祉保健部の子ども家族支援員として生活保護・生活困窮世帯・ひとり親世帯・外国につながる子ども・ひきこもり支援等を経験。30歳でカナダに子連れ留学。若年ホームレスシェルターの家族カウンセラーとして勤めた後、2020年よりトロント大学大学院で社会福祉学部博士課程に所属しながら、日系カナディアン、ミックス/ダブル/ハーフ、移民、難民、LGBTQ+コミュニティメンバーとのサイコロセラピー（心理療法）に取り組む。日本で大学講師やワークショップファシリテーターとしても活動している。

研究テーマ：ミックスアイデンティティ、反抑圧的ソーシャルワーク、多文化多言語カウンセリング、国際的ソーシャルワーク教育等。

共書：『脱「いい子」のソーシャルワークー反抑圧的な実践と理論』（現代書館 2021年）

HP: <https://viveka-therapy.com/>

【問い合わせ先】

さいたま市子ども家庭総合センター総務課 〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎 4-4-10

TEL：048-711-3846 FAX：048-711-8904 E-mail：kodomo-katei-somu@city.saitama.lg.jp